

第3回

いちきばし  
一木橋あっちべた  
こっちべたフェスタ

常滑焼をはじめとするクラフト品、常滑の野菜や果物、知多半島各地域の自慢の特産品やお土産の販売を、一木橋をメインに歴史ある街道沿い 1.5 km 区間に約 70 店のブースを設置して行います。



第3回 いちきばし  
一木橋あっちべた  
こっちべたフェスタ  
～常滑産業観光まつり～

日時：

2006年10月29日(日)

10:00～16:30

開催場所：

常滑の観光スポット、やきも散歩道の東に隣接する約 1.5 km の街道沿い一帯

企画・主催：

一木橋あっちべたこっちべた

フェスタ実行委員会

<http://www.e-tokoname.com/>

Ichikibasi1.htm



やきもの散歩道の象徴一木橋



一木橋付近の道沿いに、知多半島内の人なら常滑以外でも出店可能なので様々な店舗が並んでいます。



スタンプラリーの他に、Myバック、Myトレイを持って参加する『ゴミを出さないフェスタ作戦』を実施しています。集客だけでなく環境に配慮したイベントです。



初来場者にも分かりやすいイベントマップがあります。

常滑焼をはじめ、まちの紹介コーナーもあります。



昨年は本学の他京都橘大学の学生もイベントスタッフとして参加しました。



インタビュー

一木橋あっちべたこっちべたフェスタ実行委員会 永田光拡さんに聞きました



常滑焼急須専門店「喜久屋」代表

(町おこし会社)  
(有)婆さの鳩汁本舗  
取締役  
永田 光拡さん

イベント開催の主旨は？

常滑の資源はまだまだ活かされていません。しかし、常滑には他のまちにはない、空港、産業、観光など、小さな集団の中に見所がたくさんつまっているまちです。それらの資源があるのを活かさないのはもったいないので、『人々の集まるイベント』を開催しようと思いました。

これまでのイベントを通じて感じたことは？

これまで2回開催しましたが、参加者

数は増えています。しかし、はじめは住民の人々には、こんな所でイベントをして集客出来るのかという不安な声がありました。

第1回に出店参加した人が、工夫をして再び参加していたことを知り、実行委員としてはこのイベントはよりよいものになっていくと確信しました。

学生に期待していること

大学というところは全国から学生が集まり、卒業すれば再び地元に戻ります。そして、約4年間は大学周辺が第2の地元になります。常滑の観光資源等を学生だけでなく、家族や友達にも来てもらい、大学周辺のイベント等に“参加”することによってより知ってもらいたいと思います。

地域の方々も学生も参加することで地域の実状を知ることができます。

今回も、常滑に近い、日本福祉大学の学生が大学祭の告知や、会場設営等の実行委員会のボランティアなどに参加してもらえることを楽しみにしています。

実行委員会からひとこと

私たちのイベントに参加することを『参加出店』と言っています。今までモノを売ったことがない人、趣味の写真など、作品展示したことがない人でも気軽に参加できるイベントなので是非たくさんの人に参加してほしいです。



今年のポスター

# 今年は大野のまちにも参加する予定になっています

第8回

## 尾張大野 古今散策

大野の古い建物や宝物の資源を無駄にしないよう毎年10月第3金土日に行われています。このイベントには、約2000人もの方が訪れます。空き店舗や古民家を利用し、参加者が歩きながら発見をしてもらうイベントです。“高齢者に住みよいまちづくり”のテーマでガイド講習を行うなど地元住民がイベントスタッフとして積極的に参加しているイベントでもあります。



時代の流れを感じさせる建物が並んでいます

空き店舗を利用したギャラリーなどもあります



このイベントでは住民総出の参加型イベントが多くあります



### 第8回 尾張大野古今散策

日時：  
2006年10月20日(金)～22日(日)  
10:00～16:00

開催場所：  
名鉄常滑線・大野町駅前から国道沿い

主催：  
大野コミュニティ  
<http://www.chitanet.or.jp/users/10011063/index.html>



#### イベント内容

- ・歴史散策ツアー
- ・世間遺産写真展  
(後世に残したい市内の風景)
- ・エコゲーム  
(ゴミを減らす環境ゲーム)



### 本学卒業生経営の「結」が出店しています

本学経済学部経済学科卒業の濱本君、長谷川君は在学中に授業の一環としてJR半田駅前商店街で「畔」という店舗で起業活動を行っていました。



そして、現在常滑市やきもの散歩道内で「結」というビーズ・雑貨を販売しています。



「結」は去年から尾張古今散策にも出張販売として参加しています。

▲インタビューに快く応えてくれた長谷川くん